

超音波診断装置およびトランス スジェクター用消毒剤およびク リーニング

目次

1	はじめに	5
	警告記号	7
	お客様窓口	7
	修理受付窓口	8
	ユーザー情報のルール	8
2	安全性	11
	警告および注意	11
	グルタルアルデヒド被曝	13
3	消毒剤とクリーニング溶液	15
	装置の表面用消毒剤とクリーニング溶液	15
	トランスジューサ用消毒剤およびクリーニング溶液	17
	トランスジューサ名に基づく消毒剤の適合性	17
	消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ	22
	適合性のある消毒剤とクリーニング溶液	26

1 はじめに

本書には、ご使用の Philips 超音波診断装置およびトランスジューサに適合する消毒剤とクリーニング溶液の一覧が記載されています。

本書に記載されている情報は、次の超音波診断装置に適用されます。

- Affiniti シリーズ
- CX30
- CX50
- EPIQ シリーズ
- HD7
- HD11 シリーズ
- HD15
- iE33
- iU22
- Sparq

消毒剤やクリーニング溶液を使用する場合は、必ず製造元の手順に従ってください。

使用可能なクリーニングおよび消毒製品の数が膨大であるため、すべてを網羅するリストを作成することは不可能です。特定の製品の適正について詳細をご希望の場合は、株式会社フィリップスエレクトロニクスのお客様窓口までお問い合わせください。

超音波診断装置およびトランスジューサのクリーニングおよび消毒方法については、「超音波診断装置およびトランスジューサの手入れおよびクリーニング」または次の「Transducer and System Care」の Web サイトを参照してください。

<http://www.philips.co.jp/healthcare-resources/feature-detail/transducer-care-cleaning>

ご使用の装置でサポートされているトランスジューサの一覧については、ご使用の装置およびトランスジューサ固有の情報が記載されている『ユーザー・マニュアル』を参照してください。

詳細については、以下にお問い合わせください。

- お客様窓口 (電話番号 : 0120-556-494 (03-3740-3213)
受付時間 : 9:00 ~ 18:00 (土・日・祝祭日・年末年始を除く))。
- 以下の「Transducer and System Care」の Web サイトをご覧ください。
<http://www.philips.co.jp/healthcare-resources/feature-detail/transducer-care-cleaning>

本書およびその内容には、Philips Healthcare (以下 "フィリップス") の専有情報と機密情報が含まれています。フィリップスの書面による事前の許可なく、本書の内容の複製、一部または全部のコピー、翻案、変更、他者への開示、流布を行うことは禁止されています。本書は顧客による使用を目的としたものであり、フィリップス製品の購入に付随して使用が許可されるか、または、21 CFR 1020.30 (およびその修正) に基づいて FDA が要求する規制契約およびその他の地域の規制基準に適合する前提で使用が許可されます。許可を受けていない人物が本書を使用することは、固く禁止されています。

フィリップスは、本書をいかなる保証もない現状有姿のまま提供しており、商品性、特定目的に対する適合性、その他について、明示であると黙示であるとを問わず、一切保証をいたしません。

フィリップスでは、本書の内容が正確であるように最善を尽くしておりますが、誤りや記載漏れについては一切責任を負いません。またフィリップスは、信頼性、機能、または意匠の改善のために、本書に記載するすべての製品に関して、将来予告なしに変更する権利を有します。フィリップスは、本書に記載する製品またはプログラムについて、随時、改善や変更を行うことがあります。本書には、法令に基づく承認や許可の関係上、日本では現時点で装置に搭載されていない機能および販売されていない製品についての情報が含まれている可能性があります。詳細については、担当営業もしくはお客様窓口にお問い合わせください。

本書を許可なくコピー、および著作権を侵害することにより、フィリップスがユーザーに対して正確かつ最新な情報を提供することが困難になる可能性があります。

本製品には、新品同等の性能を持つ再生部品および付随的用途の部品が使用されている場合があります。

「xMATRIX」は Koninklijke Philips N.V. の商標です。

フィリップス社製以外の製品の名前は、各所有会社の商標です。

警告記号

本装置では次の警告記号を使用します。本装置で使用するその他の記号については、装置の『ユーザー・マニュアル』の「安全性」の項を参照してください。

警告記号

記号	説明
	注意を示します。
	高電圧記号：高電圧端子の近くに表示されています。1,000 Vac (米国では 600 Vac) を超える電圧が存在することを示します。
	IEC 60601-1-2 指定の試験を実施していないコネクタの ESD (静電気放電) 感度を示します。露出しているコネクタ・ピンに触れないでください。露出しているピンに触れると、静電気放電によって本製品が故障することがあります。
	安全性に関する情報について操作マニュアルを参照する必要があることを示します。

お客様窓口

ユーザー情報についてご質問がある場合や、ユーザー情報に誤りを見つけられた場合は、当社お客様窓口 (電話番号：0120-556-494 (03-3740-3213) 受付時間：9:00 ~ 18:00 (土・日・祝祭日・年末年始を除く))までご連絡ください。

修理受付窓口

世界各地の技術担当者が問い合わせに対応し、メンテナンス・サービスを行っています。日本では、株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンの修理受付窓口までお問い合わせください。修理受付窓口（電話番号：0120-381-557（03-3740-5357）/ 24 時間受付（年中無休））

上記窓口は、機器の不具合のみ受付いたします。

ユーザー情報のルール

当社製品では、情報を検索しやすく、理解しやすくするため、情報の表記に次のようなルールを適用しています。

- すべての手順の先頭に番号を付け、補助手順には文字を使用して順番を示します。正常に処理するためには、番号順に各ステップを実行する必要があります。
- 黒丸の付いたリストは、特定の機能または手順に関する一般的な情報を示すものであり、連続した手順を意味するものではありません。
- 装置の左側は、操作者が装置に向かって立ったときの左側になります。装置の前面は、装置の使用時、操作者に最も近い位置になります。
- 文脈上区別が重要である場合を除き、トランスジューサとペンシル・プローブは、いずれもトランスジューサと呼ばれます。

当社製品を安全かつ効果的に使用するうえで不可欠な情報は、ユーザー情報全体を通じて次のように表示されます。



警告

警告は、ユーザー、操作者、および患者の安全に不可欠な情報を示します。



注意

注意は、製品の不具合の原因となり、保証や修理契約が無効となるような事項や、患者や装置のデータを失うおそれのある事項を示しています。

注

注記は、製品のより効果的な操作に役立つ重要な情報を示します。

2 安全性

本項に記載されている情報をお読みいただき、超音波診断装置の操作および保守点検を行うすべての人と検査を受けるすべての患者の安全を確保し、装置およびアクセサリの品質を確認してください。

警告および注意

クリーニング溶液および消毒剤を使用する際は、次の警告および注意に従ってください。



警告

すべての消毒薬が、すべて汚染の種類に効果があるわけではありません。消毒剤の種類が指定した装置またはトランスジューサに適していることと、溶液の濃度および接触時間が実行する臨床上的の使用目的に適していることを確認してください。



警告

消毒剤は、その生物学的作用のためではなく、製品材料との化学的な適合性から推奨されています。消毒剤の生物学的作用については、消毒剤の製造元、米国食品医薬品局 (FDA)、および米国疾病防疫センターのガイドラインおよび推奨事項を参照してください。



警告

あらかじめ調合された溶液を使用する場合は、溶液の使用期限を確認してください。

**警告**

装置に必要な消毒レベルは、使用時に接触する組織によって異なります。消毒剤の種類がトランスジューサの種類やトランスジューサのアプリケーションに適していることを確認してください。必要な消毒レベルの詳細については、「超音波診断装置およびトランスジューサの手入れおよびクリーニング」マニュアルまたは

「Transducer and System Care」の Web サイト (<http://www.philips.co.jp/healthcare-resources/feature-detail/transducer-care-cleaning>) を参照してください。詳細については、消毒剤の添付文書および取扱説明書の指示と、感染管理専門家協会、FDA、および米国疾病防疫センターによる推奨事項も参照してください。

**注意**

推奨されていない消毒剤を使用したり、溶液の濃度に誤りがあったり、トランスジューサを推奨よりも深くまたは長時間浸漬したりすると、トランスジューサが損傷を受けたり色が落ちたりすることがあります。この場合、トランスジューサの保証は適用されません。

**注意**

TEE 以外のトランスジューサの場合、イソプロピル・アルコールでクリーニングできる部品は、コネクタのハウジング、トランスジューサのハウジングおよびレンズだけです。TEE トランスジューサの場合、イソプロピル・アルコールでクリーニングできる部品は、コネクタのハウジングとコントロールのハウジングだけです。アルコール溶液の濃度を 70% 以下にしてください。トランスジューサの他の部品は、損傷することがあるため、イソプロピル・アルコールで拭かないでください (ケーブルや屈曲コントロールを含む)。この場合の損傷には保証またはサービス契約が適用されません。

グルタルアルデヒド被曝

米国職業安全衛生管理局 (OSHA) は、作業環境において許容可能なグルタルアルデヒド被曝のレベルに関する規定を発表しました。当社では、製品に使用するグルタルアルデヒドをベースにした消毒剤は販売していません。ただし、この種類の消毒剤は、TEE、体腔内、および穿刺手順で使用されるトランスジューサの消毒用として推奨されています。

空気中のグルタルアルデヒドの成分を減らすには、カバー付き、または通気のよいソーキング容器を使用するようにしてください。そのような装置は市販されています。消毒剤および当社のトランスジューサの最新情報については、当社の「Transducer and System Care」の Web サイトを参照してください。

<http://www.philips.co.jp/healthcare-resources/feature-detail/transducer-care-cleaning>

3 消毒剤とクリーニング溶液

次のトピックでは、ご使用の Philips 超音波診断装置およびトランスジューサに適合する消毒剤とクリーニング溶液の一覧が記載されています。

装置の表面用消毒剤とクリーニング溶液

消毒剤およびクリーニング溶液の適合性は、使用されるアイテムによって異なります。以下の表に記載されている製品は、次のような装置の表面に適合しています。

- 装置およびカートの外装のプラスチック塗面
- 装置のコントロール・パネル
- ECG 患者ケーブル、リード、および電極
- タッチ・スクリーンおよびモニタ画面
- イージークリップ・トランスジューサ・ケーブル・マネージャ

全表面のクリーニング溶液	タッチ・スクリーンとモニタ画面用のクリーニング溶液	装置表面とタッチ・スクリーン用の消毒剤
低刺激性の石鹼水	<ul style="list-style-type: none"> • 低刺激性の石鹼水 • LCD 用クリーナー • 精製水 	<ul style="list-style-type: none"> • 70% のイソプロピル・アルコール (IPA) • Opti-Cide 3 (第 4 アンモニウム/IPA ベース) • Oxivir Tb (加速化過酸化水素ベース) • PI-Spray II (第 4 アンモニウム・ベース) • Protex (EPIQ シリーズおよび Affiniti シリーズの装置にのみ適合) • Sani-Cloth HB (第 4 アンモニウム・ベース) • Sani-Cloth Plus (第 4 アンモニウム/IPA ベース)



注意

装置、周辺機器、またはトランスジューサには、クレンザー、アセトン、MEK、シンナー、その他の強い溶剤を使用しないでください。



注意

Sani-Cloth AF3 または Super Sani-Cloth を使用して装置やトランスジューサを消毒しないでください。



注意

ディスプレイ・スクリーンにはガラス・クリーナーや、漂白剤を含んでいる製品を使用しないでください。消毒剤またはクリーナーは直ちに拭き取って、残留物が蓄積しないようにしてください。



注意

装置表面およびトランスジューサは、超音波伝送ゲル、アルコール、および消毒剤に対して耐性がありますが、それらを使用した場合は、直ちに拭き取って、永続的な損傷を受けないようにしてください。

超音波診断装置およびトランスジューサのクリーニングおよび消毒方法については、『超音波診断装置およびトランスジューサの手入れおよびクリーニング』または次の「Transducer and System Care」の Web サイトを参照してください。

<http://www.philips.co.jp/healthcare-resources/feature-detail/transducer-care-cleaning>

トランスジューサ用消毒剤およびクリーニング溶液

本項の 3 つの表には、ご使用のトランスジューサに使用できる消毒剤とクリーニング溶液が記載されています。

- 「トランスジューサ名に基づく消毒剤の適合性」(17 ページ) :トランスジューサが消毒剤の適合性と共にアルファベット順に表示されています。「トランスジューサ名」列でご使用のトランスジューサを探し、「適合性カラム」リファレンスで、「[適合性のある消毒剤とクリーニング溶液](#)」(26 ページ) の該当する「適合性カラム」を参照します。
- 「消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ」(22 ページ) :トランスジューサが「[適合性のある消毒剤とクリーニング溶液](#)」(26 ページ) の対応する「適合性カラム」に従って表示されています。この表を使用すれば、どのトランスジューサが 7 つの適合性カラムに対応するかを即座に判断できます。
- 「[適合性のある消毒剤とクリーニング溶液](#)」(26 ページ) :当社のトランスジューサに適合する消毒剤とクリーニング溶液の一覧が表示されています。番号が付いた適合性カラムは、トランスジューサとそれに適合する消毒剤を示しています。2 つのトランスジューサ表のいずれかを使用して、どの適合性カラムがご使用のトランスジューサに当てはまるかを判断します。

トランスジューサ名に基づく消毒剤の適合性

次の表には、トランスジューサが消毒剤の適合性と共にアルファベット順に表示されています。「トランスジューサ名」列でご使用のトランスジューサ (指定されている場合は対象装置) を探し、「適合性カラム」で「[適合性のある消毒剤とクリーニング溶液](#)」(26 ページ) の該当する適合性カラムを特定します。装置が指定されていない場合は、トランスジューサの全バージョンで同じ適合性カラムを使用します。

装置でサポートされているトランスジューサの一覧については、装置の『ユーザー・マニュアル』を参照してください。

トランスジューサ名に基づく適合性リファレンス

トランスジューサ名 (装置名)	適合性カラム
1.9MHz CW Pencil	3

トランスジューサ名 (装置名)	適合性カラム
1.9MHz TCD	3
15-6L	7
3D6-2 (HD11)	1
3D6-2 (iU22)	2
3D8-4	1
3D9-3v (HD11、HD15、iU22)	1
3D9-3v (Affiniti、EPIQ)	2
5.0MHz CW Pencil	3
7.5MHZ Endo	1
BP10-5ec	2
C5-1 (CX50、HD15、iE33、iU22)	1
C5-1 (Affiniti、EPIQ)	2
C5-2 (HD7、HD11、HD15、iE33、iU22)	1
C6-2 Compact (CX30、Sparq)	1
C6-2 Compact (Affiniti)	2
C6-3	1
C8-4v	1 または 2 *
C8-5	1
C8-5 Compact (CX30、CX50)	1
C8-5 Compact (Affiniti、EPIQ)	2
C9-2	2
C9-3v	2

トランスジューサ名 (装置名)	適合性カラム
C9-4	1
C9-4ec	1
C9-4v	2
C9-4v Compact	2
C9-5ec	1
C10-3v	2
C10-4ec	2
D2cwc	3
D2tcd	3
D5cwc	3
L8-4	1
L9-3	1
L11-3	1
L12-3 (HD7、HD11、HD15)	1
L12-3 (Affiniti、CX50、EPIQ)	2
L12-4	2
L12-4 Compact (CX30)	1
L12-4 Compact (Affiniti)	2
L12-5 50 Compact (CX50)	1
L12-5 50 Compact (Affiniti、EPIQ)	2
L12-5 50 mm	1
L15-7io (HD11、HD15、iE33、iU22)	1 または 2 **

トランスジューサ名 (装置名)	適合性カラム
L15-7io (Affiniti, CX30, CX50, EPIQ)	2
L17-5	1
L18-5	2
OMNI III TEE	5
S3-1	1
S4-1 (iU22)	1
S4-2	1
S4-2 Compact (CX30, Sparq)	1
S4-2 Compact (Affiniti)	2
S5-1 (CX50, iE33, iU22)	1
S5-1 (Affiniti, EPIQ)	2
S5-2	1
S6-2mpt	5
S7-2t Omni	5
S7-3t	4
S8	1
S8-3	1
S8-3 Compact (CX30, CX50)	1
S8-3 Compact (Affiniti, EPIQ)	2
S8-3t	4
S12	1
S12-4	1

トランスジューサ名 (装置名)	適合性カラム
S12-4 Compact (CX50)	1
S12-4 Compact (Affiniti、EPIQ)	2
TCD	3
V6-2 (HD11XE、HD15、iU22)	1
V6-2 (Affiniti、EPIQ、HD5)	2
V8-4	1
VL13-5	2
VL13-5 Compact	2
X3-1	1
X5-1	1
X5-1 (EPIQ)	2
X6-1	2
X7-2 (iE33、iU22)	1
X7-2 (EPIQ)	2
X7-2t	5

脚注

* 以下の部品番号を含む C8-4v モデルについては、適合性カラム 2 を使用してください。

- 部品番号 4535611 7292x (x は 3 以上)
- 部品番号 4535612 8750x (x は 2 以上)
- 部品番号 4535613 1895x (x は 1 ~ 9)
- 部品番号 4535614 9748x (x は 1 ~ 9)
- 部品番号 4535614 9749x (x は 1 ~ 9)
- 部品番号 4535616 8452x (x は 1 ~ 9)

他の部品番号を含む C8-4v モデルについては、適合性カラム 1 を使用してください。

部品番号は、コネクタのハウジングの内側にあります。

** 以下の部品番号を含む L15-7io モデルについては、適合性カラム 2 を使用してください。

- 部品番号 4535614 0781x (x は 1 ~ 9)
- 部品番号 4535612 8750x (x は 2 以上)

他の部品番号を含む L15-7io モデルについては、適合性カラム 1 を使用してください。

部品番号は、コネクタのハウジングの内側にあります。

消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ

次の表には、「[適合性のある消毒剤とクリーニング溶液](#)」(26 ページ) に該当する適合性カラム別にトランスジューサが一覧表示されています。カラムの見出しの色は、適合性カラムの色に対応しています。装置が指定されていない場合は、トランスジューサの全バージョンで同じ適合性カラムを使用します。

装置でサポートされているトランスジューサの一覧については、装置の『ユーザー・マニュアル』を参照してください。

消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ

適合性カラム 1 に該当するトランスジューサ (装置名)	
3D6-2 (HD11)	L12-5 50 mm
3D8-4	L15-7io (HD11、HD15、iE33、iU22) **
3D9-3v (HD11、HD15、iU22)	L17-5
7.5MHZ Endo	S3-1
C5-1 (CX50、HD15、iE33、iU22)	S4-1 (iU22)
C5-2 (HD7、HD11、HD15、iE33、iU22)	S4-2
C6-2 Compact (CX30、Sparq)	S4-2 Compact (CX30、Sparq)
C6-3	S5-1 (CX50、iE33、iU22)
C8-4v *	S5-2
C8-5	S8
C8-5 Compact (CX30、CX50)	S8-3
S8-3 Compact (CX30、CX50、HD5)	
C9-4	S12
C9-4ec	S12-4
C9-5ec	S12-4 Compact (CX50)
L8-4	V6-2 (HD11XE、HD15、iU22)
L9-3	V8-4
L11-3	X3-1
L12-3 (HD7、HD11、HD15)	X5-1
L12-4 Compact (CX30)	X7-2 (iE33、iU22)
L12-5 50 Compact (CX50)	

適合性カラム 2 に該当するトランスジューサ (装置名)

3D6-2 (iU22)	L12-4 Compact (Affiniti)
3D9-3v (Affiniti、EPIQ)	L12-5 50 Compact (Affiniti、EPIQ)
BP10-5ec	L15-7io (Affiniti、CX30、CX50、EPIQ)
C5-1 (Affiniti、EPIQ)	L15-7io (HD11、HD15、iE33、iU22) **
C6-2 Compact (Affiniti)	L18-5
C8-4v *	S4-2 Compact (Affiniti)
C8-5 Compact (Affiniti、EPIQ)	S5-1 (Affiniti、EPIQ)
C9-2	S8-3 Compact (Affiniti、EPIQ)
C9-3v	S12-4 Compact (Affiniti、EPIQ)
C9-4v	V6-2 (Affiniti、EPIQ、HD5)
C9-4v Compact	VL13-5
C10-3v	VL13-5 Compact
C10-4ec	X5-1 (EPIQ)
L12-3 (Affiniti、CX50、EPIQ)	X6-1
L12-4	X7-2 (EPIQ)

適合性カラム 3 に該当するトランスジューサ (装置名)

1.9MHz CW Pencil
1.9MHz TCD
5.0MHz CW Pencil
D2cwc
D2tcd
D5cwc

TCD

適合性カラム 4 に該当するトランスジューサ (装置名)

S7-3t

S8-3t

適合性カラム 5 に該当するトランスジューサ (装置名)

OMNI III TEE

S6-2mpt

S7-2t Omni

X7-2t

適合性カラム 6 に該当するトランスジューサ (装置名)

—

適合性カラム 7 に該当するトランスジューサ (装置名)

15-6L

脚注

* 以下の部品番号を含む C8-4v モデルについては、適合性カラム 2 を使用してください。

- 部品番号 4535611 7292x (x は 3 以上)
- 部品番号 4535612 8750x (x は 2 以上)
- 部品番号 4535613 1895x (x は 1 ~ 9)
- 部品番号 4535614 9748x (x は 1 ~ 9)
- 部品番号 4535614 9749x (x は 1 ~ 9)
- 部品番号 4535616 8452x (x は 1 ~ 9)

他の部品番号を含む C8-4v モデルについては、適合性カラム 1 を使用してください。

部品番号は、コネクタのハウジングの内側にあります。

** 以下の部品番号を含む L15-7io モデルについては、適合性カラム 2 を使用してください。

- 部品番号 4535614 0781x (x は 1 ~ 9)
- 部品番号 4535612 8750x (x は 2 以上)

他の部品番号を含む L15-7io モデルについては、適合性カラム 1 を使用してください。

部品番号は、コネクタのハウジングの内側にあります。

適合性のある消毒剤とクリーニング溶液

次の表には、ご使用の Philips 超音波診断装置に使用できるトランスジューサに適合する消毒剤とクリーニング溶液の一覧が記載されています。[「消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ」\(22 ページ\)](#) または [「トランスジューサ名に基づく消毒剤の適合性」\(17 ページ\)](#) の表を使用して、トランスジューサおよび対応する適合性カラムを見つけてください。



注意

TEE 以外のトランスジューサの場合、イソプロピル・アルコールでクリーニングできる部品は、コネクタのハウジング、トランスジューサのハウジングおよびレンズだけです。TEE トランスジューサの場合、イソプロピル・アルコールでクリーニングできる部品は、コネクタのハウジングとコントロールのハウジングだけです。アルコール溶液の濃度を 70% 以下にしてください。トランスジューサの他の部品は、損傷することがあるため、イソプロピル・アルコールで拭かないでください（ケーブルや屈曲コントロールを含む）。この場合の損傷には保証またはサービス契約が適用されません。

材料適合性試験、製品使用プロファイルおよび有効成分に基づき、当社では、消毒剤の表の適合性制限に従って、次の種類の低水準消毒剤を表面（皮膚接触）および経腔または経直腸プローブへの散布または清拭として使用することを承認しています。

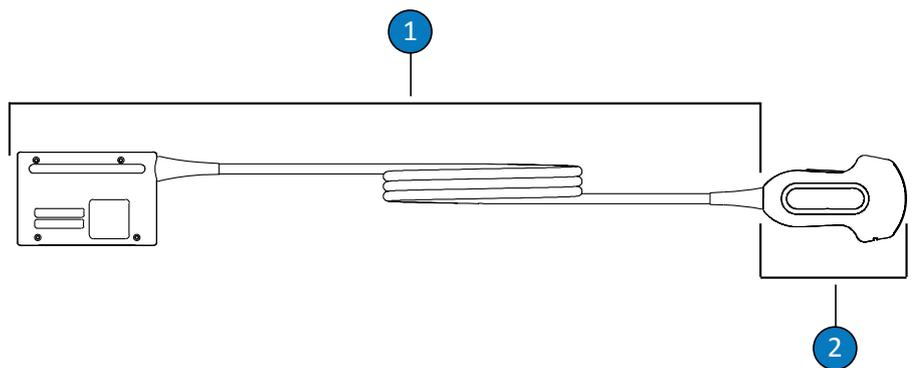
- 次亜塩素酸ナトリウム（有効次亜塩素酸ナトリウムが約 0.6%、家庭用漂白液の 10% 溶液など）
- 第 4 アンモニウム (QUAT) ベース (x がエチルやメチルなどの有機官能基となることができる n-アルキル x ベンジル・アンモニウム塩化溶液を含んでいる製品で、使用時の濃度は記載されているすべての QUAT の合計の 0.8% を下回る必要があります)
- 加速化過酸化水素ベース（最大 0.5% の過酸化水素）
- アルコールまたはアルコール・プラス QUAT ベース（製品のアルコール含有量は 70% を超えないようにしてください）
- この一覧に示されているように、適合性の表に特に記載されていなくても、類似する有効成分を持ち、医学的用途で市販されている製品

消毒剤やクリーニング溶液を使用する場合は、必ず製造元の手順に従ってください。

使用可能なクリーニングおよび消毒製品の数が膨大であるため、すべてを網羅するリストを作成することは不可能です。特定の製品の適正について詳細をご希望の場合は、株式会社フィリップスエレクトロニクスのお客様窓口までお問い合わせください。

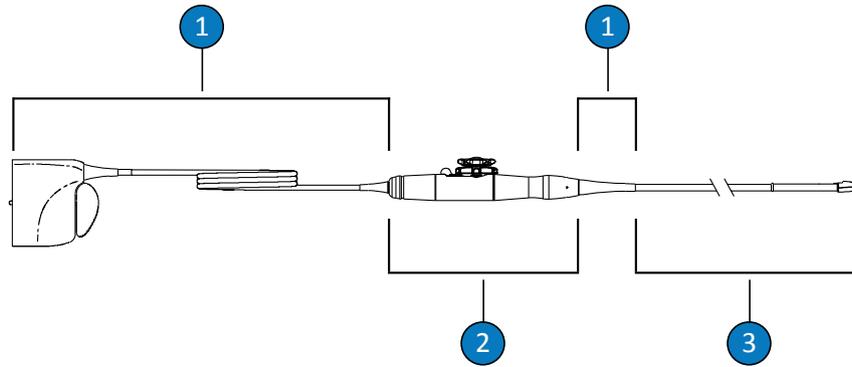
消毒剤とクリーニング溶液の表の凡例

原産国	消毒剤の種類	適合性
AU = オーストラリア	CL = クリーナー	C = ケーブルおよびコネクタでの使用が認可されている (コネクタを絶対に浸漬しないでください)
CA = カナダ	HLD = 高水準の消毒剤	H = ハンドルおよびステアリング機構での使用が認可されている
DE = ドイツ	ILD = 中水準の消毒剤	N = 使用不可
ES = スペイン	LLD = 低水準の消毒剤	T = トランスジューサに使用可能
FR = フランス	S = 滅菌剤	
JP = 日本		
UK = 英国		
US = アメリカ合衆国		



TEE トランスジューサ以外の部品

- 1 C (ケーブルおよびコネクタ)
- 2 T (トランスジューサ)



TEE トランスジューサの部品

- 1 C (ケーブル、コネクタ、および屈曲コントロール)
- 2 H (ハンドルおよびステアリング機構)
- 3 T (トランスジューサ)

注

「消毒剤の適合性に基づいて一覧表示されたトランスジューサ」(22 ページ) または「トランスジューサ名に基づく消毒剤の適合性」(17 ページ) の表を使用して、トランスジューサおよび対応する適合性カラムを見つけてください。

消毒剤とクリーニング溶液の適合性

対策	原産国	認可済み使用 方法	有効成分	消毒剤の種 類	適合性						
					1	2	3	4	5	6	7
70% イソプロピ ル・アルコール	すべて	散布/清拭	アルコール	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T

対策	原産国	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性						
					1	2	3	4	5	6	7
AbcoCide	US	浸漬 ^a	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
AbcoCide 28	US	浸漬 ^a	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Accel Wipes (全タイプ)	CA	清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	C
Acecide	JP	浸漬 ^a	過酢酸	HLD、S	N	N	N	N	T	N	N
Aidal Plus	AU	浸漬 ^a	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Alkaspray	FR	散布/清拭	アルコール、アルキルアミン	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T
Ampholysine Basique	FR	散布/清拭	ビグアニド/QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	C
Aniosept Activ	FR	浸漬 ^a	過酢酸	HLD、S	N	T、C	N	N	T	T	N
ANIOXY DM	FR	浸漬 ^a	過酢酸	HLD、S	N	T、C	N	N	T	T	N
Anioxyde 1000	FR	浸漬 ^a	過酢酸	HLD	N	T、C	N	N	T	T	N
Antigermix E1	FR	E1 システム	UV-C	HLD	N	N	N	N	T、C	N	N
Antigermix S1	FR	S1 システム	UV-C	HLD	T、C _b	T、C _b	N	N	N	N	T、C
Banicide Plus	US	浸漬 ^a	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
漂白剤 (最大 0.6% の NaOCl)	すべて	散布/清拭	次亜塩素酸ナトリウム	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	C	C	T、C	T、C

4535 618 30391_A/795 * AUG 2015

Philips Healthcare

対策	原産国	認可済み使用 方法	有効成分	消毒剤の種 類	適合性						
					1	2	3	4	5	6	7
CaviWipes	US	清拭	アルコール、 QUAT	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T
Cidex	US	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Cidex 7	US	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Cidex OPA	US	浸漬 ^a	オルトフタルア ルデヒド	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Cidex PAE 14J	FR	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Cidex Plus	US	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Cleanisept Wipes	DE	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、 C、H	T、 C、H	T、 C、H	T、C
Clorox Healthcare Bleach Germicidal Cleaner	US	散布/清拭	次亜塩素酸ナト リウム	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	C	C	T、C	T、C
Clorox Healthcare Hydrogen Peroxide Cleaner Disinfectants	US	散布/清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、 C、H	T、 C、H	T、 C、H	C
Combi- Instruments-N	FR	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド- formacetale ブレンド	HLD	T、C	T、C	N	N	T	T、C	T、C

4535 618 30391_A/795 * AUG 2015

Philips Healthcare

対策	原産国	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性						
					1	2	3	4	5	6	7
Descoton Extra	DE	浸漬 ^a	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Dispatch	US	散布/清拭	次亜塩素酸ナトリウム	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	C	C	T、C	T、C
Endosporine	FR	浸漬 ^a	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Enzol	US	プレクリーナー	酵素	クリーナー	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Epizyme Rapid	AU	プレクリーナー	酵素	クリーナー	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Gigasept FF (neu)	DE	浸漬 ^a	コハク酸ジアルデヒド	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Gigasept PA	DE	浸漬 ^a	過酢酸	HLD	N	T、C	N	N	T	T	N
Gigasept PAA Concentrate	DE	浸漬 ^a	過酢酸	HLD	N	T、C	N	N	T	T	N
Incidin	DE	散布/清拭	アルコール	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T
Incidur Spray	DE	散布/清拭	アルコール、QUAT、アルデヒド	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T
Instruzyme	FR	プレクリーナー	酵素、QUAT、ビッグアニド	クリーナー	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Klenzyme	US	プレクリーナー	酵素	クリーナー	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Korsolex Basic	FR	浸漬 ^a	アルデヒド放出	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C

4535 618 30391_A/795 * AUG 2015

Philips Healthcare

対策	原産国	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性						
					1	2	3	4	5	6	7
Korsolex Extra	FR	浸漬 ^a	アルデヒド/ QUAT	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Korsolex PAE	FR	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
MaxiCide Plus	US	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
MedDis	UK	浸漬 ^a	QUAT、スルフ アミン酸	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T	N
Medistel	UK	浸漬 ^a	QUAT、スルフ アミン酸	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
MediZyme	AU	浸漬 ^a	酵素	クリーナー	T、C	T、C	N	T	T	T、C	T、C
MetriCide	US	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
MetriCide 28	US	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
MetriCide OPA Plus	US	浸漬 ^a	オルトフタルア ルデヒド	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
MetriCide Plus 30	US	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
MetriZyme	US	プレクリー ナー	酵素	クリーナー	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
mikrozid PAA Wipes	DE	清拭	過酢酸	LLD、ILD	N	T、C	N	N	T、C	T、 C、H	N
低刺激性の石鹼水	すべて	プレクリー ナー	界面活性剤/石 鹼	クリーナー	T、C	T、C	T、C	T、C	T、C	T	T、C

対策	原産国	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性						
					1	2	3	4	5	6	7
Milton	AU	散布/清拭	次亜塩素酸ナトリウム	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	C	C	T、C	T、C
NDP Med Concentrated Plus	ES	浸漬 ^a	N-Duopropenide、アルキルアミン	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
neodisher endo CLEAN/neodisher endo SEPT PAC	DE	AER	クリーナー/過酢酸	HLD	N	N	N	N	T	N	N
Neodisher endo DIS アクティブ	DE	浸漬 ^a	過酢酸	HLD	N	T、C	N	T	T	T	N
Olympic 過酢酸	UK	AER	過酢酸	HLD	N	N	N	N	T	T	T、C
Omnicide 14NS	US	浸漬 ^a	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Omnicide 28	US	浸漬 ^a	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
OPAL	AU	浸漬 ^a	オルトフタルアルデヒド	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Opticide3	US	散布/清拭	アルコール、QUAT	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T
Oxivir (全タイプ)	US	清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	C
Oxygenon-I	FR	浸漬 ^a	酸素生成	HLD	N	T、C	N	T ^o	T	N	N
PeraSafe	UK	浸漬 ^a	過酢酸	HLD、S	N	T、C	N	T	T	T	N
Perascope	UK	浸漬 ^a	過酢酸	HLD	N	T、C	N	N	T	T	N

4535 618 30391_A/795 * AUG 2015

Philips Healthcare

対策	原産国	認可済み使用 方法	有効成分	消毒剤の種 類	適合性						
					1	2	3	4	5	6	7
Perastel	UK	AER/浸漬 ^a	過酢酸	HLD	N	T、C	N	N	T	T	N
PerCept (全タイプ)	CA	清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、 C、H	T、 C、H	T、 C、H	C
Phagocide D	FR	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Phagozyme ND	FR	プレクリー ナー	酵素、QUAT	クリーナー	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
PI-Spray (以前の T- Spray)	US	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、 C、H	T、 C、H	T、 C、H	T、C
PI-Spray II (以前の T-Spray II)	US	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、 C、H	T、 C、H	T、 C、H	T、C
ProCide-D	US	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
ProCide-D Plus	US	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Prolystica 2X	US	プレクリー ナー	酵素	クリーナー	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Protex Disinfectant (全タ イプ)	US	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、 C、H	T、 C、H	T、 C、H	T、C
第 4 アンモニウム (最大 0.8% アクテ ィブ)	すべて	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、 C、H	T、 C、H	T、 C、H	T、C
Rapicide	US	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C

対策	原産国	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性						
					1	2	3	4	5	6	7
Rapicide OPA	US	浸漬 ^a	オルトフタルアルデヒド	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T、C	T、C
Rapicide PA	US	浸漬 ^a	過酢酸	HLD	N	T、C	N	T	T	T	N
Revital-Ox Resert XL HLD	US	浸漬 ^a	過酸化水素	HLD	T、C ^c	T、C	N	T ^d	T	T	N
Rivascop	FR	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C
Salvanios pH 10	FR	散布/清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C
Sani-Cloth Active	DE	清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C
Sani-Cloth AF	US	清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C
Sani-Cloth AF3	US	清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C
Sani-Cloth Bleach	US	清拭	次亜塩素酸ナトリウム	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	C	C	T、C	T、C
Sani-Cloth HB	US	清拭	QUAT	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	T、C
Sanicloth Plus	US	清拭	アルコール、QUAT	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T
Sekucid N	FR	浸漬 ^a	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Sekusept Aktiv	DE	浸漬 ^a	過酢酸	HLD	N	T、C	N	T	T	T	N

4535 618 30391_A/795 * AUG 2015

Philips Healthcare

対策	原産国	認可済み使用 方法	有効成分	消毒剤の種 類	適合性						
					1	2	3	4	5	6	7
Sekusept Easy	DE	浸漬 ^a	過酢酸	HLD	N	T、C	N	T	T	T	N
Sekusept Plus	DE	浸漬 ^a	グルコプロタミ ン	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Soluscope P	FR	AER	過酢酸	HLD	N	N	N	N	T	N	N
Steranios 2%	FR	浸漬 ^a	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Sterrad 100S	US	処理装置 (S)	過酸化水素	S	N	N	N	N	N	T、 C、H	N
TD-5	US	TD-100 処 理装置	グルタルアルデ ヒド	HLD、S	N	N	N	T	T	N	N
Tristel Duo	UK	発泡体/清拭	二酸化塩素	HLD	T、C	T、C	N	N	N	T、C	N
装置の Tristel ヒュ ーズ	UK	Stella シス テム	二酸化塩素	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T	N
Tristel Multi-Shot	UK	浸漬 ^a	二酸化塩素	HLD	T、C	T、C	N	T	T	T	N
Tristel Sporicidal Wipes	UK	清拭	二酸化塩素	HLD	T、C	T、C	T、C	T、 C、H	T、 C、H	T、 C、H	N
Tristel Trio Trace	UK	事前クリー ニング清拭、 殺孢子性清 拭、すすぎ清 拭	酵素、二酸化塩 素	HLD	T、C	T、C	T、C	T、 C、H	T、 C、H	T、 C、H	N
Trophon EPR	AU	Trophon EPR 処理装 置	過酸化水素	HLD	T、C ^e	T、C	N	N	N	N	N

対策	原産国	認可済み使用方法	有効成分	消毒剤の種類	適合性						
					1	2	3	4	5	6	7
Vaposeptol	FR	散布/清拭	アルコール、ビグアニド	LLD、ILD	T	T	T	H	H	T、H	T
Virox 5 RTU	CA	清拭	過酸化水素	LLD、ILD	T、C	T、C	T、C	T、C、H	T、C、H	T、C、H	C
Wavicide -01	US	浸漬 ^a	グルタルアルデヒド	HLD、S	T、C	T、C	N	T	T	T	T、C
Wip'Anios	FR	清拭	アルコール、QUAT	LLD、ILD	T	T	T	H	H	H	T

脚注

- a コネクタを浸漬しないでください。
- b Antigermix S1 は、3D6-2、3D8-4、V6-2、V8-4、VL13-5 または VL13-5 では使用できません。
- c Oxygenon-I および Revital-Ox Resert XL HLD を使用すると、S7-3t トランスジューサおよび S8-3t トランスジューサのフレキシブル・シャフトが変色する場合があります。変色しても、デバイスの安全性や性能に影響はありません。
- d Revital-Ox Resert XL HLD は 使用できないトランスジューサがあります。
- e Trophon EPR は 使用できないトランスジューサがあります。

Philips Healthcare is part of Royal Philips

www.philips.com/healthcare
healthcare@philips.com

製造元

Philips Ultrasound
22100 Bothell-Everett Highway
Bothell, WA 98021-8431
USA



© 2015 Koninklijke Philips N.V.

All rights are reserved. 記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。

Published in USA

4535 618 30391_A/795 * AUG 2015 - ja-JP